

Cell nature Science

Meet the CNS holder

2019年

7月19日(金)

17:30~

筑波大学

国際統合睡眠医科学研究機構 1階講堂

開会の辞 | 千葉 滋 筑波大学医学医療系 血液内科 教授

17:30
~
18:10

つくばキャンサーリサーチアリーナ

座長 坂本 竜弘 筑波大学附属病院 病院講師

演題 **Adipose-Derived Mesenchymal Stem Cell has the differentiation/reprogramming capacity towards two distinct Cancer Associated Fibroblasts**

Miyazaki Yoshihiro 筑波大学医学医療系 消化器外科

第12回 つくばがん研究会

18:10
~
18:30

「ベンダムスチンの効果と再発期間について」

石塚 幹太郎 筑波大学医学医療系 血液内科

「レンバチニブの効果とマネジメントについて」

金子 宜樹 筑波大学医学医療系 消化器外科

18:30
~
19:40

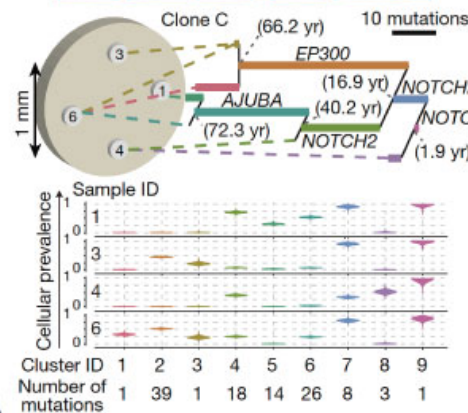
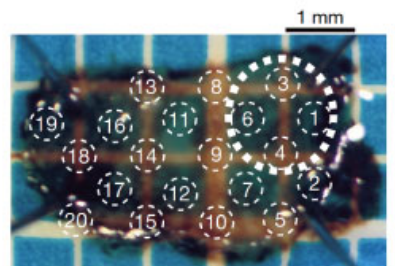
座長 千葉 滋 筑波大学医学医療系 血液内科 教授

「がんの起源について」

小川 誠司 先生

京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座 教授

- Yokoyama A, Ogawa S. Age-related remodelling of oesophageal epithelia by mutated cancer drivers. *Nature*, 2019.
- Kataoka K, Ogawa S. Aberrant PD-L1 expression through 3' UTR disruption in multiple cancers. *Nature*, 2016.
- Yoshizato T, Ogawa S. Somatic Mutations and Clonal Hematopoiesis in Aplastic Anemia. *N Engl J Med*, 2015.
- Sato Y, Ogawa S. Recurrent somatic mutations underlie corticotropin-independent Cushing's syndrome. *Science*, 2014.
- Yoshida K, Ogawa S. Frequent pathway mutations of splicing machinery in myelodysplasia. *Nature*, 2011.
- Sanada M, Ogawa S. Gain-of-function of mutated C-CBL tumour suppressor in myeloid neoplasms. *Nature*, 2009.



閉会の辞 | 牛島 俊和 国立がん研究センター エピゲノム解析分野 分野長

※参加費 500円

(コ・メディカル、ポスドク、研修医、大学院生は参加費不要です)

※当日は会終了後に、立食での情報交換会を予定しております。

(なお、国立等の施設にご所属の先生方におかれましては、事前にご所属施設に確認の上
ご対応いただきますようお願い申し上げます)

共催：つくばがん研究会、エーザイ株式会社
「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル) 養成プラン事業

【お問い合わせ】筑波大学がんプロ事務局

Tel : 029-853-7316

e-mail : ganpro-jimukyoku@un.tsukuba.ac.jp

Meet
the CNS
holder

7月19日(金)

17:30~

筑波大学

国際統合睡眠医科学研究機構 1階講堂

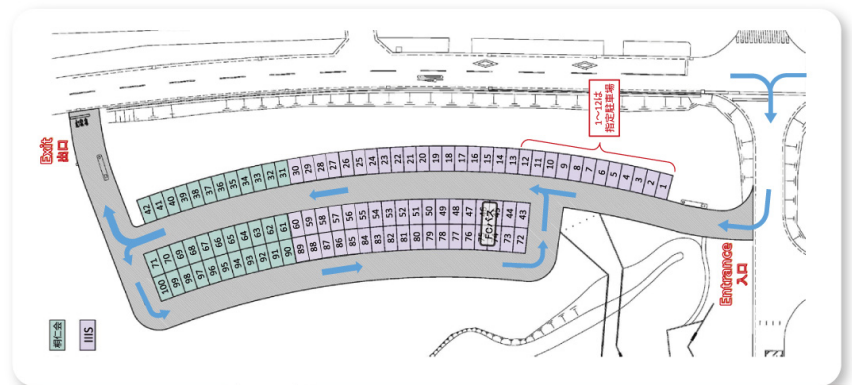
がんとは何か
小川誠司先生を招いて

次世代シーケンサーの登場以来、多くの研究者はがんについての理解が大きく変化してきたと感じています。年明けに京都大学・小川誠司先生の研究チームが Nature 誌に報告した食道粘膜の経年変化の論文は、この理解のあり方にさらに修正が必要であることを物語っています。

今回、すべての医学・生命科学研究者を対象に、どのように理解の修正が必要であるかを、小川先生自身に解説いただく機会を設けることになりました。小川先生は、この10年ほどの間に Nature、Science、New England Journal of Medicine、Nature Genetics の4誌に責任著者としてだけで20報ほど(うち Nature 誌に6報)の論文を発表するなど、血液がんを中心とするがんのゲノム理解に多大な貢献をしてきました。今回の論文は血液がんとは無関係で、高齢者の食道粘膜が生後間もないころから80年を経てがん発症にいたる経緯など、驚くべき結論も記述されています。

がんの研究に携わる研究者はもちろん、がんを研究対象としない研究者や大学院生も、予想外の話聞けるのではないかと思います。お誘い合わせの上、ご予約ください。

世話人：千葉滋 (schiba-ky@umin.net; 内線 3103)



筑波大学

国際統合睡眠医科学研究機構

アクセス / Access

バスの場合 / By Bus

つくばエクスプレス線つくば駅A3、A4出口からのりば6番へ進み、「筑波大学循環(右回り)」または「筑波大学中央」行きに乗車して、「追越(おいこし)学生宿舎前」バス停で降車してください。バス停から駅方向へ30メートルほど戻り右折、守衛所とゲートの横を抜けてさらに100メートルほど直進すると、右前方に睡眠医科学研究棟(白い建物)が見えます。

From Tsukuba Station on Tsukuba Express Line, find the No. 6 Bus Stop and take "University Loop-line On-campus Bus [Tsukuba Daigaku Junkan Bus]" running clockwise, or "Tsukuba Daigaku Chuo" bus to "Oikoshi Gakusei Shukusha-mae." Proceed into the pathway on the same side as the exit of the bus, past the parking lot entrance gate. IIS Building is located on the right side.

お車・タクシーの場合 / By Car or Taxi

国立大学法人 筑波大学
国際統合睡眠医科学研究機構 (IIS)
University of Tsukuba
International Institute
for Integrative Sleep Medicine

〒305-8575
茨城県つくば市天王台 1-1-1
TEL/FAX 029-853-5857 / 3782
1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki,
〒305-8575
TEL/FAX +81-29-853-5857 / 3782



つくばエクスプレス
つくば駅方面(約1.3km)
To TX Tsukuba Station